

## 沖縄に行って

夏休みに家族で行きました。沖縄は新婚旅行で行った思い出の地でしたがそのときは本島にはトランジットのようなもので、ほとんど立ち寄りませんでした。今回は本島中心のプランだったので、ぜひ沖縄県平和祈念資料館に行きたいと思いました。

いろいろな、戦争の悲惨さを伝える資料館はありますが、沖縄県平和祈念資料館は、無言の中に多くのことを私たちに伝えてきました。

青い空と青い海を臨む断崖から多くの人が身を投げたその地を前に子どもたちは何を思ったのでしょうか？ 累々と何万の人の名前が刻まれた石碑を前に何を読み取ったのでしょうか？ どんな戦争も愚かで悲惨で憤りを感じるでしょう。しかし、沖縄戦は、日本って何なんだろう？ 日本人って何？ と考えさせられました。ここに沖縄県平和祈念資料館の設立理念を紹介します。

「1945年3月末、史上まれに見る激しい戦火がこの島々に襲ってきました。90日にもおよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し20数万人の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることであり、その数は10数万人におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追い詰められて自ら命を絶たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかかってきた沖縄の原点であります。

『沖縄のこころ』とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは、戦争の犠牲になった多くの御霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立します。」

沖縄戦の実相を語るべき物的資料になるものはあまり残っていません。広島や長崎での原爆資料館では、溶けたガラスや階段にうつった人の影や多くの写真が残っています。でも、沖縄戦では、戦争で生き残った人の証言こそが、証拠でした。しかし、物的証拠が無いことは、歴史の改ざんを生み教科書から集団自決のことが削除されたりしました。これはあまりに沖縄の心を踏みにじるものでした。

沖縄に行ったことで、以前より強く事実を直視し、歴史的教訓を学び今私たちが出来ることをしていきたいと思います。多くの犠牲の上に今日の日本はあります。今の平和な日本は、日本国憲法の崇高な理念によって築きあげられたと思います。憲法9条、25条を守っていきましょう。

みなと福祉会分会 森脇拓恵

愛知県交渉の報告です

去る10月20日に行われた愛知県予算要求交渉では、

- 自立支援法についての項目  
（「利用者負担軽減」・「報酬単価の引き上げ」など）
- 県の民調についての項目
- 人材確保の問題について  
など、6つの要求について交渉しました。

「応益負担」「応能負担」については、県担当者と意見の一致をみないが、報酬単価が低いこと、利用者負担を抑えることについては見解の一致があった。また、介護保険に追隨した形での制度には無理があると思う という発言が県の担当官からあった。

ポイント加算については、設備投資や人的配置など、ポイントを得る以前にそれを行うための財政的な余裕がないため、ポイントを取ろうと思えない。コストが大きければポイントにならない。ポイント加算＝激変緩和措置ではない。先に金銭的な補助があってしかるべきではないか という発言があった。

これに対し県から「コストが高ければできない」という指摘はもっとも。ポイント加算については、まだまだ考える余地があると思っている。」との回答があった。

ケアホームの単価の低さについては、国と県の補助でどのくらい経営が改善されたか、今年度末の決算状況を見てから言ってくれ という態度だった。

参加した印象として・・・

県の裏金問題が明るみに出た直後だったためか、トーンが低めだった。こちらが話す実態の訴えにもよく耳を傾けている印象だった。ただし、報酬単価が低いことへの理解を示しつつも「国に要望している」との発言にとどまり、県単独での対策については新たな検討はなかった。次回はずいぶん、職場の仲間の声を集約して、もっと大勢で臨みたいです。（きそがわ分会 三浦）

**総会と交流会に参加してください**

**2008年11月17日（月）**

**PM7:00から総会**  
**PM8:00から金山にて交流会**

場所については、各分会の幹事にご確認ください！

みんなで元気に交流して、新しい一年に向かいましょう。

## たきちゃんのシネマパラダイス

『その土曜日、7時58分』  
アメリカ・イギリス 2007年  
監督：シドニー・ルメット

「カポーティー」のフィリップ・シーモア・ホフマン、イーサン・ホーク、マリサ・トメイと豪華な俳優陣。なのになんで名駅のゴールド劇場なんて単館上映の映画館でしかやってないのだろうと思っていました。でも、映画を見てわかりました。冒頭からいきなり見てはいけなかったものを見てしまったような気分になります。ニューヨーク郊外で起きた強盗事件をきっかけに、一つの家庭が崩壊するまでの一部始終を書いた現代の悲劇。イーサンの負け犬役がこんなにはまるとは！フィリップこの事件のもとは、そこなのか！と映画を見ていくうちに、たきちゃんの大好きな水谷豊の代表作「青春の殺人者」と重なりました。どこの国でも、いつの時代でも親との関係って永遠のテーマなんだな—と思いました。内容は悲劇の連鎖でガーンとなりますが、一見の価値有りです。

## スポーツの秋ですわ (季節限定コーナー)

我が中日ドラゴンズのクライマックスシリーズは、惜しくも巨人に敗れ、終わってしまいました（3位通過なので勝ってしまうと巨人にわるいですもんね…）、まだまだ名古屋の熱い日は続きますよ～！現在、優勝争い真っ只中のグランパス。監督がピクシーになり、選手が精神的にも強くなり、攻撃的なおもしろいサッカーを展開しています。僕の家からホームの瑞穂競技場は、徒歩3分。サポーターの熱い応援の声がこちよく聞こえてきて、気持ちが盛り上がります！さあ、みんなで僕らの名古屋グランパスを応援しよう！！そして自らもスポーツを始めてみませんか。気軽に始めて、道具もいらないスポーツ…、ジョギングはどうでしょう。この秋、地域の市町村では、マラソン大会がいくつも開催されています。完走した時の、何ともいえない達成感と充実感、すがすがしい汗をかく、健康づくり、脂肪燃焼…といいとこばかりのジョギングをはじめましょう！いくつかのマラソン大会を紹介します。

12/7 (日) 高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン  
12/14 (日) 東海市マラソン  
2009年 1/11 (日) 春日井マラソン  
1/18 (日) 北なごやマラソン

いっしょに走りましょう！

(ちよだ分会 佐々木)

一編の詩をあなたに

今日からはじまる

高丸 もと子

あなたに会えてよかった  
空が青く  
大きいことも  
あなたがいて気づいた  
この光もいま届いたばかり  
一億五千万キロのあなたから  
今日からはじまる  
何かいいこと

みんなに会えてよかった  
すてきなものが  
そばにあること

みんながいて気づいた  
いまもどこかで命が生まれる  
子犬も小鳥も草の芽も  
今日からはじまる  
何かいいこと

わたしに会えてよかった  
胸の鼓動も  
ときめきも  
わたしがいて気づいた  
だれも知らない音だけど  
わたしの殻をやぶる音

今日からはじまる  
何かいいこと

## 速報！！

たった今、この原稿を作っている最中に、ちよだ分会にボランティアに来てくださっている方が組合に入られました！たきこみごはんも役に立ちました。守山区の特養で、介護の仕事をされています。仲間が増えてうれしいです。

### <編集後記>

「障害協議会はそれぞれ持ち味の違う素材がたっぷりのたきこみごはんみたいですよ。食べたらかほか、元気がでるようなニュースをお届けできたらうれしいです。」こんな編集後記でしめくられた第1号から数えて今回で19号になったたきこみごはん。次回はそよ風土屋さん、すずかけ新城さん、原稿締め切りは11月13日(木)です！もちろんそのほかの原稿もお待ちしております。20号は特大号にできるかな？お楽しみに！！ (K)

E-mail

takikomigohan06@ya